



みちてる 会報

2017
2月

特定非営利活動法人NPOみちてる / 尾道市山波町2987番地 / TEL&FAX 0848-46-0951
E-mail npo2006@c.do-up.com / <http://www.npo-michiteru.jpn.org>

ご挨拶

特定非営利活動法人 NPOみちてる
理事長 安部 昭一郎

NPOみちてるは、お陰さまで2006年5月31日の設立から本年で、11周年を迎えさせて頂きました。

設立当初より、「音楽の振興と伝統文化の継承を図り、青少年の健全育成と社会教育の推進に寄与する」ことを目的として活動が続けて参りました。

200名余の個人の会員、併せまして、20数社に及びます法人会員を有して会員の皆様と共に成長させて頂きまして、地域社会への貢献から、踏み込んで、より多くの人たちの為にと活動の輪を拡げさせて頂いております。

本会の持つ、吹奏楽団、コーラス隊、劇団で構成する4年(当初は2、3年に一度)に一度のコンサートも、設立当初は、それぞれの日々の研鑽の発表の場を通じて、地域の人たちに喜んで頂く内向きの活動でございましたが、東日本大震災発災の年から、チャリティーコンサートに衣替えさせて頂き、現在では発展途上国の子供たちの支援も一つ柱にさせて頂いております。

又、毎年恒例になりました、日本文化の継承をコンセプトに秋に開催しておりましたが月見茶会も数年前より、地域で学ぶ留学生をお招きする席も新たに設けさせて頂きまして、留学生各自が帰国した際には、地域から発信した日本文化を広く国際社会に広めてくれるように昇華させて頂きました。

特に、去年は、新しい試みとして、雅楽にジャズを組合せた斬新な企画で、新たなお茶会のスタイルも大変な好評を頂きました。

併せまして、老人介護施設への訪問活動、各地でのコーラスの発表も地道に行って参っております。

ここ尾道を発信源とし、日本文化を広く国際的にも理解頂きながら更に、10年目の節目を越えさせて頂いた本年を、新たなスタートの年と位置づけ、国際交流から、国際貢献へと大きく活動を踏み出して参ります

更に、青少年の健全育成、社会教育の推進にも一層寄与して参る所存でございます。どうぞ、引き続きましてNPOみちてる、に対しましてご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■ みちてる・コーラス・ソサイエティ(M.C.S.)

みちてる・コーラス・ソサイエティは、昨年新メンバーを2人迎え、現在25名が毎月3回集まって楽しく合唱しています。昨年まで指導してくださった河村充子先生の資料から、この10年間で約100曲に取り組み、歌い続けてきたことが分かりました。それぞれの歌詞に込められた「生命の尊さ」「自然の美しさ」「人と人・人と生き物の愛の素晴らしさ」などのメッセージをメロディに乗せて歌ってきました。



練習はいつも発声練習から始まりますが、みんなに会えた「喜びのお喋り」や「大きな笑い声」が、心や身体をほぐし、腹筋を鍛えるよい発声練習になっています。年齢に合わせて歌い易い楽譜にしたり、英語の歌に挑戦したり…今出る自分の声を愛し、メンバーと合唱できることに感謝しながら、歌声を響かせています。



今後も、会員は指導者・伴奏者の増加充実に力を入れ、さらに美しく達成感のある合唱をしていきたいと思います。また、皆様に喜んで頂けるMCSとして、社会貢献活動にも取り組みを広げていきたいと考えています。



■ みちてる・ミュージック・ソサイエティ(M.M.S.)

20数年前より道輝スカウト団OB・OGの楽器経験者が集まり活動をしていましたが、2006年から「NPOみちてる」の1部門として活動をさせて頂いています。

昨年までの10年の間には、テアトロ・シェルネで3回の合同コンサートをさせて頂いたり、ニューキャッスルホテルで開催されるイベントでステージ演奏をさせて頂いたりしました。

2015年6月にテアトロ・シェルネで開催した、第4回チャリティーコンサートでは、「50名のトランペット隊」という企画を行い、楽器未経験の幼児から80代の方まで、多くの方々に出演頂き、皆様に喜んでいただきました。



■ スターライトクラブ

毎日、施設内で単調な日常生活をされておられる方、刺激の無い日々を過ごされている方々にひと時でも楽しんでもらいたい!喜んで頂きたいという思いで、思いやりのある人達が集まって歌や踊りや劇等を練習し、施設訪問をしているスターライトクラブです。

楽しんだり、喜んだりしてもらうには先ず、私達が楽しく練習できること、一人ひとりが熱心に練習をし、それを披露することで施設内の利用者様や職員の方々も一緒に喜んでいただくことが、私達スターライトクラブの役割だと思います。ありがたい事に、クラブ外の銭太鼓や玉すだれチームの方達も一緒に活動してくださっています。自分自身の健康の為に、老けない為に、尚一層の練習と苦勞をし、施設訪問を続けていきたいと思っています。

この訪問活動を重ねることで、舞台度胸が付き、4年に1度のコンサートの時の劇が少しずつ上手になってきたと思います。2年先にはまた良い劇ができるよう皆で頑張ります。その時、出演者のお願いをする人があると思いますが、その時は是非、ご協力下さいますようお願いいたします。



また、昨年10月の瑠璃茶会では、お茶席の合間にジャズを演奏させて頂き、留学生の方々に好評をいただきました。

これからも楽器を演奏することの楽しさ、みんなで心をひとつにし、息を合わせて曲を創っていくことの爽快感・達成感を、もっとたくさんの方々と共有したいと願っています。

現在活動しているメンバーの方の中には、これまで楽器を演奏した経験のない方もおられますので、興味のある方は気軽にお声かけください。皆様の御協力よろしくお願い致します。

また、発表の機会を募っています。備三地区で開催されるイベントや施設の訪問依頼などありましたらご連絡頂きますよう、重ねてよろしくお願い致します。



瑠璃茶会

瑠璃茶会は、山波奥城・お座敷を使い、毎年10月に開催し、今年で15回を迎えることになります。

みんなで隅々までお掃除をし、工夫を凝らし、お座敷は静かな茶室に、山波センターは楽しい点心席にしつらえ、300名近いお客様をお迎えし、一杯の薄茶とお弁当を頂きながら、かがり火やロウソクの灯りに照らされた夕暮れ時のひと時を楽しんで頂いています。

もう一つの特徴は、国際交流席を設けていることです。備三地区の高校に通う留学生や外国語教師の方をご招待し、雅楽を聞き、楽器に触れ、茶室では薄茶と和菓子と一緒に味わい、日本固有の美術品に触れ、点心を食べ、スカウトと交流し、日本文化の一端に触れていただいていることです。



おしらせ

NPOみちてるでは、2015年のチャリティーコンサートから、NGO金光教平和活動センター（KPAC）の国際支援（貧困地区に住む児童に対する教育支援）活動への寄付を行ってきました。

さらに昨年から、KPACの教育里親事業への支援をさせていただくことになりました。支援させて頂く奨学生は、ペドロサ君（8歳・男子・Timoteo Paez小学校 4年生）（2017年2月現在）です。（写真）

3年後に予定している次回チャリティーコンサートでは、彼にゲストとしてお越しいただく計画を進めています。

NPOみちてるでは、今年度、「国際貢献」を定款に盛り込み、国際的な活動をさらに進めてまいりたいと願っています。

これからもNPOみちてるをご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

